

患者安全TeamSim Step 1 & 2

日時：2020年3月28日（土） 9:15～16:15

会場：一橋大学学術総合センター 2階（東京都千代田区）

患者安全TeamSim Step1&2 学習目標

病院・部署における患者安全を担保するために必要な以下の看護実践能力を獲得します。

<ul style="list-style-type: none"> 新人看護師がはじめての夜勤で患者安全を担保できる (急変や予期せぬ停止の目を摘み取る) 	<p>患者安全 TeamSim・ステップ1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者情報から症状を正しく認識し変化を予測できる 2) 訪室したら「変化がない」「変化の懸念がある」「変化がある」を判断できる 3) 「変化がない」なら患者安全信号機を使ってプラン緑を選択できる 4) 「変化の懸念がある」「変化がある」なら上級者に報告できる
<ul style="list-style-type: none"> 効果的に考え、効率的に行動し、効果的に連携し患者に安全と成果をもたらす看護ができる 振り返りができる (成果を振り返る技能、成果を上げる12の認知技能) 	<p>患者安全 TeamSim・ステップ2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 3つの観察（パッと見判断、全体観察、初期評価）の判断に応じた行動をリハーサルできる 2) 変化の懸念があれば患者アセスメントを行いSBARで報告と対応の提案ができる 3) 低酸素血症と酸素供給減少の判断ができ初期対応ができる 4) 多重課題に対応できる

4人1組のグループ間で、言語化・可視化できるアウトプットの場をインストラクターがサポートしながら提供します。

急変させない患者観察テクニックの第一段階では、複数の事例を活用し、患者の元へ行く前段階として、患者情報から症状を正しく認識し変化を予測し、プラン（プランA・プランB）を頭で整えリハーサルする方法を学びます。

【プランBの解説】

急変に先行する最初の変化に気づくにはプランBを想定する必要があります。患者の病状が安定していることを直接証明することは不可能なので、プランBを想定し患者の病状は変化するという仮説を立てて患者を観察します。観察の結果変化はないと判断できれば、その時点ではプランBを棄却し患者の病状は安定していると考えることができます。次に患者のところに行くときは改めてプランBで頭を整えます。この繰り返しが患者安全な医療実践になります。

対象者：医療者（医師、看護師など）、医療機関の臨床指導者・研修指導者

医学・看護系(大学・専門学校)の教員

※患者安全TeamSim基礎セミナー受講後が望ましい

テキスト：患者安全TeamSim：「急変させない患者観察テクニック」（羊土社）

参加会費：会員13,000円 非会員18,000円（昼食は含みません）

☑各コース過程を修了しますと、JSISH公認修了証が発行されます。

☑Step1&2はピンバッチ（ピンク）が付きます。

申込QRコード



コース当日は認定インストラクターが皆さまの効果的な学びにつながるようサポートします！



多賀美和
水島協同病院：岡山



平田早苗
川崎医科大学附属病院：岡山



河邊紅美
小牧市民病院：愛知



喜井なおみ
三豊総合病院：香川



川瀬洋志
医療法人須崎会高陵病院：高知